

災害時の初動対応

宮城県仙台第三高等学校 68班

初動対応の重要性

初動対応に遅れがあることがわかった。



三高付近である鶴ヶ谷地区は高齢者の方が多い。



高齢者は一般の人より初動対応に遅れる傾向があるため鶴ヶ谷地区は迅速に避難することが比較的困難。

初動対応とは

- ・地震や津波などの災害発生直後における最初の行動

初動対応に出来によって避難状況が大きく変化する

◎個人

- ・身を守る行動
例) 建物から離れる
- ・(应急処置)
- ・情報収集
例) 震度、崩落箇所の確認
- ・避難開始

◎団体

- ・緊急対策本部の設営、被害状況確認
- ・安全エリアの特定
- ・避難経路手順マニュアル作成
- ・避難所開設
- ・備蓄の開放



迅速かつ正確な行動が必要！

体験学習

私達は災害を学べる施設に行ってインタビューをしてきた。

大阪府東大阪市消防局防災学習センター

○初動対応訓練！

地震直後のやるべきこと8つを体験!!

※何も情報がない状態でのスタートです

- ①ガスコンロの火を消す
- ②ガス栓を閉める
- ③暖房機械の電源を消す
- ④ドアを開ける
- ⑤テレビ・ラジオをつけて情報を知る
- ⑥非常用リュックを取る
- ⑦懐中電灯を取る
- ⑧ブレーカーを落とす

→これを約二分で行う！



三人で挑戦してもクリアできませんでした…

○インタビュー

センターで防災教育活動を行っているスタッフの方にお話を伺った。

東と西の意識の違い…

- 西日本
防災訓練は行うが、大きな災害を経験した人が少ない

- 東日本
防災知識は豊富。だが、災害に慣れすぎている。

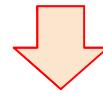
○インタビューでわかったこと

初動対応では地震発生から数分の行動が大事であるため、日頃からの防災意識は高くあるべきである。よって地震が起こってすぐでも、パニックを起こさず迅速かつ冷静に動けるように日々訓練するべきである。

活動計画

新マニュアル作成

- 仙台市の防災マップに基づいて鶴ヶ谷地域専用の防災マップを作成する



最終目標

鶴ヶ谷地域に目を向けて、初動対応の改善を図る

活動結果

マニュアルの内容を決めるために鶴ヶ谷元気会の方々にインタビューを行った。

活動①

～鶴ヶ谷元気の方との交流～

○3月末、鶴ヶ谷市民センターにて鶴ヶ谷元気会の数名の方々に地域住民の目線ならではの意見を聞きました！

活動②

一作成一

鶴ヶ谷防災マニュアル

-地震発生後にすべきこと-

こんなものは1仙台第三高校研究68班です。
私は防災について探究活動を行ってきました。
今震度5以上の大地震が起こったら…
まず何の行動をするかは決まっていますか?
みなさんにお伝えしていきます!

地震が起きたらこれをしよう！

- ①ガスコンロの火を消す
- ②ガス栓を閉める

③ドアを開ける

…避難の逃げ道を確保しましょう

⑤テレビ・ラジオをつけて情報を知る

⑥非常用リュックを取る

…年に1~2回の定期的な確認を！

⑦懐中電灯を取る

⑧ブレーカーを落とす

一定以上の揺れのときに自動で落ちるものもあります

お家のものを確認しておきましょう。

先日元気会の方々から知っておいたほうが良い知識や持っていたら役に立つものなどをお聞きしました。地域住民の方ならではの「声」が載っているので、非常に冷静に行動できるように目を通してみてください!!

皆さんの声

○用意したら良い物



・石油ストーブ

→電気が止まってる時に便利！

・カセットボンベ・電気コンロ

→災害後は電気やガスが止まってしまうので、これを使えば簡単にお湯を沸かせます！

・サンランタップ、アルミホイル

→皿代わり、洗う必要なし！

・電池

・水（1人1日最低3リットル必要）

→水の期限は約5~10年！飲料水やそれ以外の水も用意しておきましょう！

少しの日常の準備や意識が自分の身を守ることに繋がります！このマニュアルが少しでも皆様のお役に立てたらと思います。是非参考にしてみてください！

まとめ

- ・作成したマニュアルは鶴ヶ谷元気会の会合にて配布していただきました。
- ・当初からの目標であった初動対応を地域に広めていくということが少しだけ達成に近づいてとても良かったと思います。
- ・これからも防災の意識を持って生活していきたいです

参考文献

- 1) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000068_000016808.html#:~:text=【災害発生時の自治体の課題】
- 2) <https://www.higashiosaka-bousai.com/> 「東大阪市消防局防災学習センター」